

影なる王女・主な登場人物

稚建皇子 わかたけるのみこ 先の大王の嫡子。日継の皇子

春日郎女 かすがのいらつめ 大伴金村の娘

息長皇后 おきながのおおきさき 先の大王の皇后

影皇女 かげのひめみこ

八須女 やすめ 皇后の宮女

香和女 かわめ 皇后の宮女

葉津女 はつめ 皇后の宮女

押齒皇子 おしはのみこ 稚建の異母兄

大伴金村 おおとものかねむら ヤマト一の豪族

稗田阿礼 ひえだのあれ ヤマトの史人
笹葉 ささば 阿礼の養女

大伴羽生 おおとものはぶ 金村の弟

大伴室屋 おおともむろや 金村の甥。春日郎女の従兄

大伴真嚙 おおともまぐい 金村の従弟

大伴狭手彦 おおともさてひこ 金村の次男。春日郎女の異母兄

葛城円 かつらぎのつぶら ヤマトの豪族

平群真鳥 へぐりのまとり ヤマトの豪族

平群鮪 へぐりのしび 平群真鳥の息子

葛城韓媛 かつらぎのからひめ 葛城円の娘

飯豊 いいとよ 十二歳の巫女

満智 まんち 渡来人

且波の王 たにわのきみ ヤマトと敵対する国の王

関連地図



高志の王　　こしのきみ　　且波と敵対する国の王
鹿虫　　しかむし　　高志の重臣

物部荒鹿比　　もののべのあらかい　　ヤマトの豪族
物部八束　　もののべのやつか　　荒鹿比の息子
毛野男君　　けぬのおぎみ　　八束の同志
許勢茅楯　　こせのぬたて　　八束の同志